

## 通信教育実施計画に関すること

教科名:国語

科目名:現代の国語

目標:言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

使用教材:002 東書 現国・701 新編現代の国語

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
こそめスープ		・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	レポート
ルリボシカミキリの青		・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	レポート
未来をつくる想像力		・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	レポート
水の東西		・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	レポート
分かりやすい説明をしよう	1.0 1.0	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	面接指導 面接指導
スキマが育む都市の緑と生命のつながり		・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	レポート
無彩色の色		・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	レポート
情報を整理しながら話し合おう	1.0	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	放送視聴
鍋洗いの日々		・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	レポート
森で染める人		・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	レポート
真夏のひしこ漁		・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	レポート
美しさの発見		・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	レポート
りんごのほっぺ		・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	レポート
不思議な拍手		・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	レポート
真の自立とは		・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	レポート

教科名:国語

科目名:言語文化

目標:言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

使用教材:002 東書 言文・701 新編言語文化

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
さくらさくらさくら		・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	レポート
どんかつ		・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	レポート
柳あをめる【短歌】		・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	レポート
冬が来た		・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	レポート
羅生門		・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	レポート
夢十夜	1.0	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	レポート 面接指導
古文に親しむ		・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。	
児のそら寝	1.0	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。	面接指導
徒然草		・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	レポート
折々のうた		・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	レポート
伊勢物語		・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	レポート
平家物語		・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	レポート
奥の細道		・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	レポート
訓読の基本	1.0	・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	レポート 放送視聴
絶句と律詩一七首		・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	レポート
論語一八章		・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	レポート
史話一三編		・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	レポート

教科名:国語

科目名:論理国語

目標:言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

使用教材:002 東書 論国 701 新編論理国語

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
対話とは何か		・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。	レポート
世界をつくり替えるために		・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	レポート
少女たちの「ひろしま」		・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。	レポート
「ふしぎ」ということ		・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。	レポート
学ぶことと人間の知恵		・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。	レポート
ラップトップ抱えた「石器人」		・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。	レポート
思考の肺活量	1.0	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。	レポート 面接指導
安心について		・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。	レポート
弱肉強食は自然の摂理か		・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。	レポート
複数の「わたし」	1.0	・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。	レポート 面接指導
はじめに「言葉」がある		・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。	レポート
楽しく働くこと、楽しく働くこと		・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。	レポート
情景のなかの労働		・文章に取り上げられた事例をもとに、働くことについて理解を深める。	
鉄、千年のいのち		・筆者の考えを捉え、働くことについて理解を深める。	
論理の力	1.0 2.0	・「要約するための五つのステップ」を読み、要約する手順とポイントを理解する。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握する。	面接指導 放送視聴
最初のペンギン	1.0	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。	レポート 面接指導
豊かさとは生物多様性		・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。	レポート
物語の外から		・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。	レポート
カフェの開店準備		・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。	レポート
鏡としてのアンドロイド		・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。	レポート
ロボットが隣人になるとき		・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。	レポート
言葉は「ものの名前」ではない		・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。	レポート
科学的「発見」とは		・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	レポート
知識における作者性と構造化		・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。	レポート
もう一つの知性		・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。	レポート
ホンモノのおカネの作り方		・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。	レポート
未来のありか		・小見出しを参考に各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。	レポート
やさしい日本語		・資料を読んで「やさしい日本語」について理解し、実用的な文章の分かりやすさについて考える。	

教科名:国語

科目名:古典探究

目標:言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

使用教材:002 東書 古探70I 新編古典探究

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
古文編1 説話に親しむ		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	レポート
古文編2 随筆を読む		・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。	レポート
古文編3 作り物語を読む	1.0	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。	レポート 放送視聴
古文編4 和歌の世界	1.0	・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。	レポート 面接指導
古文編5 日記を読む		・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。	レポート
古文編6 軍記物語を味わう		・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。	レポート
古文編7 近世文学の世界		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。	レポート
古文編1 随筆を味わう	1.0	・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。	レポート 面接指導
古文編2 歌物語を楽しむ		・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。	レポート
古文編3 歴史物語を読む		・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。	レポート
古文編4 歌話・歌論を読む		・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。	レポート
古文編5 作り物語を味わう		・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める。	レポート
古文編6 俳諧に親しむ		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。	レポート
古文編7 伝承の世界		・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める。	レポート
漢文編1 故事と小話	1.0	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	レポート 放送視聴
漢文編2 唐詩と文		・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げ深める。	レポート
漢文編3 史記を読む	1.0	・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。	レポート 面接指導
漢文編4 中国の知恵		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	レポート
漢文編5 三国志の世界		・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	レポート
漢文編1 小話を読む		・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げ深める。	レポート
漢文編2 古詩を味わう		・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。	レポート

		・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。	
漢文編 3 史記を味わう		・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める。	レポート
漢文編 4 中国の思想		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	レポート
漢文編 5 日本の漢詩文	1.0	・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。	レポート 面接指導

教科名:地理歴史

科目名:地理総合

目標:地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情を育成することを旨とする。

使用教材:002 東書 地総 701 地理総合

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1章 私たちが暮らす世界		・地軸の傾きや自転・公転による影響を理解する。 ・地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考える。	レポート
2章 地図や地理情報システムの役割	1.0 1.0	・私たちの生活にさまざまな地図が利用されていることを理解する。 ・多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考える。	レポート 面接指導 放送視聴
1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解		・地域によって文化が異なる理由について理解する。 ・文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解する。	レポート
2節 生活文化と自然環境		・山地におけるさまざまな暮らしの工夫について理解する。 ・山地における自然的、文化的なめぐみに気づき、その利用について理解する。	レポート
3節 生活文化と自然環境		・大気の大循環によって生じる気圧帯について理解する。 ・気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考える。	レポート
4節 生活文化と産業		・自然環境の面から、食生活の地域差について理解する。 ・社会環境の面から、農業形態の地域差について理解する。 ・食文化に多様性が生じる理由について理解する。	レポート
2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題		・環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解する。 ・生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考える。	レポート
2節 資源・エネルギー問題	1.0	・資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解する。 ・新興国のエネルギー需要の増加を理解し、資源をめぐる対立が生じる要因を考える。	レポート 面接指導
3節 人口問題		・18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解する。 ・発展途上国が抱える人口問題を理解し、その要因・影響を考える。	レポート
4節 食料問題		・食料問題が生じる背景について理解する。 ・食の安全に関する問題について知り、その対策について理解する。	レポート
5節 居住・都市問題		・発展途上国で進む都市人口の増加の背景を理解する。 ・発展途上国の大都市における生活や都市環境の変化から居住問題について理解する。	レポート
6節 民族問題		・ヨーロッパで起こった難民危機を手がかりに、難民と民族問題について理解する。 ・難民が発生する原因や、民族問題の背景について考える。	レポート
7節 持続可能な社会の実現をめざして		・地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解する。 ・先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考える。	レポート
1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色		・日本の地形の特徴について理解する。 ・日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解する。	レポート
2節 さまざまな自然災害と防災	1.0	・プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解する。 ・震源の位置や土地の条件によって、引き起こされる被害の違いがあることを理解する。	レポート 面接指導

教科名:地理歴史

科目名:地理探究

目標:我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土の在り方を探究する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を育成することを目指す。

使用教材:002 東書 地探 701 地理探究

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 編 現代世界の系統地理的考察 1 章 自然環境		<ul style="list-style-type: none"><li>・地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解する。</li><li>・異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況について理解する。</li><li>・地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解する。</li><li>・日本の環境問題の歴史的な経緯と現状をふまえた上で、問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解する。</li></ul>	レポート
2 章 産業と資源	1.0 1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解する。</li><li>・工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解する。</li><li>・地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて、多面的・多角的に理解する。</li></ul>	レポート 面接指導 面接指導
3 章 交通・通信・観光	1.0 1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したこと、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解する。</li><li>・現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解する。</li><li>・時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることをふまえ、日本における観光の変化の動向について理解する。</li></ul>	レポート 面接指導 放送視聴
4 章 人口、村落・都市	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界の人口分布の特徴とその背景をふまえた上で、地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について理解する。</li><li>・都市機能の拡充過程をふまえ、都市システムが形成される背景について、その階層性との関わりから理解するとともに、近年の都市間競争の活発化により、世界都市を目指す動きが盛んであることを理解する。</li><li>・先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解する。</li></ul>	レポート 面接指導
5 章 生活文化、民族・宗教		<ul style="list-style-type: none"><li>・文化についての定義の理解をふまえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について、多面的・多角的に理解する。</li><li>・世界の宗教分布の特徴とその形成過程についての理解をふまえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について理解する。</li><li>・国家の領域や国境の概念について、具体例をもとに理解する。</li></ul>	レポート
2 編 現代世界の地誌的考察 1 章 現代世界の地域区分		<ul style="list-style-type: none"><li>・さまざまな指標によって地域を区分することの意義、方法について理解する。</li><li>・世界の諸地域の地域的特色をとらえるための地誌的な考察方法について理解する。</li></ul>	レポート
		<ul style="list-style-type: none"><li>・経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて理解する。</li><li>・工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相について理解するとともに、国内の生活文化の特徴と変化の動向について理解する。</li><li>・東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に理解する。</li><li>・南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展について、グローバル化に伴う経済発展との関わりから理解する。</li><li>・発展の状況や他地域との結びつきについて理解する。</li><li>・ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史的変遷について認識を深める。</li><li>・EU の東方拡大の背景とそれによりもたらされている課題について理解し、地域格差の問題について認識を深める。</li><li>・ロシア国内の多様な民族、宗教についての認識をふまえ、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について理解する。</li><li>・ラテンアメリカの文化の形成の経緯について、歴史的背景をふまえながら理解する。</li><li>・北極と南極それぞれの地理的特徴について理解するとともに、近年の動向について国際社会との関わりから認識を深める。</li></ul>	レポート
3 編 現代世界と日本の国土像 1 章 持続可能な国土像の探究		<ul style="list-style-type: none"><li>・日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策の探究に向けて、課題探究のプロセスを理解する。</li></ul>	レポート

教科名:地理歴史

科目名:歴史総合

目標:近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を育成することを旨とする。

使用教材:002 東書 歴総・701 新選歴史総合

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
2節 歴史の特質と資料	1.0	・日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	面接指導
2章 近代化と私たち 2節 結び付く世界と日本の開国		・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	レポート
3節 国民国家と明治維新		・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲制と国民国家の形成を理解する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	レポート
3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2節 第一次世界大戦と大衆社会		・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	レポート
3節 経済危機と第二次世界大戦		・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	レポート
4章 グローバル化と私たち 2節 冷戦と世界経済	1.0 1.0	・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
3節 世界秩序の変容と日本		・アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	レポート

教科名:地理歴史

科目名:日本史探究

目標:我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情を育成することを目指す。

使用教材:002 東書 日探 701 日本史探究

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 編 先史・古代の日本と東アジア		・人類が日本列島で生活を営み始めた時代から平安時代までを扱い、先史・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	
1 章 先史社会の生活と文化		・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	レポート
2 章 歴史資料と先史・古代の展望		・資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から先史・古代の特色についての仮説を表現することを通じて、3 章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	レポート
2 編 中世の日本と世界		・平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	レポート
1 章 中世社会の成立		・院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	レポート
2 章 歴史資料と中世の展望		・資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、3 章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	レポート
3 章 中世社会の展開		・1 章で学んだ古代から中世への転換の理解や時代を通観する問い、2 章で表現した中世を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	レポート
3 編 近世の日本と世界		・安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。	レポート
1 章 近世社会の形成		・織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	レポート
2 章 歴史資料と近世の展望		・資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、3 章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	レポート
4 編 近現代の地域・日本と世界		・近世の幕末期から現代までを扱い、「歴史総合」の学習をふまえ、世界の情勢の変化とその中における日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解する。また、それらをふまえて、現代の日本の諸課題について、多面的・多角的に考察して理解するとともに、歴史的経緯や根拠をふまえて構想する。	レポート
1 章 近代社会の幕開け	2.0	・幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	レポート 面接指導
2 章 歴史資料と近現代の展望		・資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近代の特色についての仮説を表現することを通じて、3 章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	レポート
3 章 近現代社会の展開	1.0	・近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	放送視聴
4 章 現代の日本の課題の探究	2.0	・持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究し、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	面接指導

教科名:公民

科目名:公共

目標:現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想する能力を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 公共・701 公共

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己		・青年期の特徴や発達課題としてのアイデンティティの確立の理解を手がかりに、青年期に生きる自己形成の課題について理解する。 ・現代社会で生きる上で何が課題なのか、現代社会の特質やキャリア開発の意義、社会参画を通じて育てるシティズンシップの意義などについて理解する。	レポート
2章 公共的な空間における人間としての在り方—生き方—共に生きるための倫理		・行為選択の理由付けについて、目的論と義務論の考え方があることを理解する。 ・目的論に関して、帰結主義による功利主義と徳倫理学の主な考え方を理解する。	レポート
3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会		・社会における意見や利害の調整、意思決定における民主主義の意義、それらの課題について理解する。 ・法の支配や近代立憲主義の意義について、歴史的背景もふまえながら理解する。 ・公共的な空間における基本的原理の一つである、人間の尊厳と平等について、その意義、歴史的展開、現代の動向について理解する。	レポート
1章 民主政治と私たち	1.0	・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、実際の政治事象とも関連させながら理解する。 ・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革について、実際の政治事象とも関連させながら理解する。	レポート 放送視聴
2章 法の働きと私たち	1.0	・私法の性格、私法の三つの原則、過失責任の原則などについて理解する。 ・司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権について理解する。	レポート 面接指導
3章 経済社会で生きる私たち		・経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きについて、実際の経済事象とも関連させながら理解する。 ・財政の三つの機能、財政政策、財政のしくみや租税法律主義などについて、実際の事象とも関連させながら理解する。 ・財政と財政政策を通じて、経済政策や福祉政策その他の政策が行われていることを理解する。	レポート
4章 私たちの職業生活	1.0	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。	レポート 面接指導
5章 国際社会のなかで生きる私たち		・国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象とも関連させながら理解する。 ・平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の立場と役割について、実際の事象とも関連させながら理解する。 ・現在の国際経済秩序と動き、地域統合の歴史と現在、台頭する新興国の動きなどについて、実際の事象とも関連させながら理解する。	レポート

教科名:公民

科目名:倫理

目標:人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 倫理 701 倫理

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 1 章 人間の心のあり方		・人間の定義について考えた上で、パスカルの言葉を手掛かりに「考えること」の意義について考察する。	レポート
2 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I	1.0 1.0	・さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って、「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索する。 ・ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景をふまえて考察する。 ・真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間との関わりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 ・幸福、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴、ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	レポート 面接指導 放送視聴
3 章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II	1.0	・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて考察する。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	レポート 面接指導
4 章 国際社会に生きる日本人としての自覚		・日本人の伝統的な自然観の特質について、「おのずから」の働きや、『古事記』・和辻哲郎の著作などの記述に着目し、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索する。 ・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学が見出した人間像や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 ・日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	レポート
2 編 現代の諸課題と倫理	1.0	・生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、「生きることの意義」について思索する。 ・多様性を前提として、協働、ケア、共生の視点から、だれにとっても住みやすい社会について思索する。	レポート 面接指導

教科名:公民

科目名:政治・経済

目標:よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図る自覚を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 政経701 政治・経済

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 編 現代日本の政治と経済 1 章 現代日本の政治 1 節 民主政治の基本原則	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解する。</li><li>法の意義や、「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解する。</li><li>成年年齢が変更された背景について理解する。</li><li>基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解する。</li><li>よりよい民主政治のあり方について考察する。</li></ul>	レポート 放送視聴
2 節 日本国憲法の基本原則	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解する。</li><li>憲法改正に関する議論について考察する。</li><li>憲法第9条をめぐる意見の対立や、日本の安全保障体制の変化について理解する。</li></ul>	レポート 面接指導
3 節 日本の政治機構		<ul style="list-style-type: none"><li>国会の権限や組織、運営について理解する。</li><li>内閣の権限や内閣と国会の関係について理解する。</li><li>司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、裁判員制度について理解する。</li><li>憲法における地方自治の規定や、地方自治における住民の権利について理解する。</li></ul>	レポート
4 節 現代政治の特質と課題		<ul style="list-style-type: none"><li>議会制民主主義において政党が必要な理由や、戦後日本の政党政治の変遷について理解する。</li><li>日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解する。</li><li>選挙権年齢引き下げの背景や選挙権を行使する意味について理解する。</li></ul>	レポート
2 章 現代日本の経済 1 節 現代の資本主義経済		<ul style="list-style-type: none"><li>希少性やトレードオフなど経済活動の基本原則について理解する。</li><li>資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解する。</li></ul>	レポート
2 節 現代経済のしくみ		<ul style="list-style-type: none"><li>家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解する。</li><li>企業の活動や、株式会社の特徴について理解する。</li><li>市場における価格の役割や、独占禁止法による規制の必要性について理解する。</li><li>金融の役割や、金融政策の手段について理解する。</li></ul>	レポート
3 節 日本経済の発展と現状		<ul style="list-style-type: none"><li>戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。</li><li>バブル経済崩壊後の日本経済の状況や、2000年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響について理解する。</li></ul>	レポート
4 節 福祉社会と日本経済の課題		<ul style="list-style-type: none"><li>公害問題が発生する理由や、公害を防止する方法について理解する。</li><li>情報化の進展が社会にもたらしているイノベーションや、「第四次産業革命」が社会生活にもたらす変化について理解する。</li><li>自分に合った働き方を実現するためにはどのようなことに考慮すべきか理解する。</li><li>社会保障制度の発展と変化や、日本の社会保障制度の特徴と課題について理解する。</li></ul>	レポート
3 章 現代日本の諸課題		<ul style="list-style-type: none"><li>地域社会の現状について理解する。</li><li>労働におけるジェンダー平等の現状について理解する。</li><li>日本の中小企業の強みと課題について理解する。</li><li>日本が直面する災害とその対策の現状について理解する。</li></ul>	レポート
2 編 グローバル化する国際社会 1 章 現代の国際政治 1 節 国際政治のしくみ		<ul style="list-style-type: none"><li>主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解する。</li><li>国際社会の秩序維持の要因や、国内法と比較した国際法の特徴について理解する。</li><li>集団安全保障のしくみが必要とされた背景や、平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解する。</li></ul>	レポート
2 節 複雑化する国際政治と日本	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>第二次世界大戦後の国際関係や、冷戦体制の変化について理解する。</li><li>世界で地域主義が進んでいる理由や、EUの成立過程および特徴について理解する。</li><li>核抑止体制の問題点や、軍縮をめぐる現在の動向について理解する。</li><li>日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解する。</li></ul>	レポート 面接指導
2 章 現代の国際経済 1 節 国民経済と国際経済		<ul style="list-style-type: none"><li>貿易の意義や、国際収支の各項目に反映される経済取引について理解する。</li><li>現代の国際通貨体制の変遷や、近年経済政策の分野で各国の政策協調が必要になっている理由について理解する。</li><li>南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや、新興経済諸国の現状について理解する。</li></ul>	レポート
2 節 世界経済の現状と課題		<ul style="list-style-type: none"><li>経済のグローバル化の進展や、近年の国際金融の変化について理解する。</li><li>現在の世界経済はどのような課題を抱えているか考察する。</li><li>21世紀の世界人口の変動予想や、貧困の発生要因について理解する。</li></ul>	レポート
3 章 国際社会の諸課題	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>日本の多文化共生をめぐる状況について理解する。</li><li>SDGsの達成に向けた取り組みの現状について理解する。</li></ul>	レポート 面接指導

教科名:数学

科目名:数学I

目標:数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

使用教材:002 東書 数I 704・705 新数学I

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 節 文字を使った式		文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。 分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。	レポート
2 節 実数		根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。 有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。	レポート
3 節 方程式と不等式	1.0	1 次方程式について理解し、1 次方程式を解くことができる。 2 次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて 2 次方程式を解くことができる。 解の公式を用いて 2 次方程式を解くことができる。	レポート 放送視聴
1 節 2 次関数とグラフ		変化する 2 つの変量の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。 具体的な事象から 2 次関数の概念を理解する。 2 次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフを選ぶことができる。	レポート
2 節 2 次関数の値の変化		2 次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。 2 次関数のグラフと 2 次方程式の解の関係を理解し、グラフと $x$ 軸の共有点の $x$ 座標を求めることができる。	レポート
1 節 鋭角の三角比		相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。 タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。	レポート
2 節 三角比の応用		正弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 余弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 座標を用いて定めることで $0^\circ$ から $180^\circ$ までの角に対するものに拡張された三角比を理解し、その値を求めることができる。 角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、 $180^\circ-\theta$ の三角比の値を求めることができる。	レポート
1 節 データの分析	1.0 1.0	データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解し、目的やデータに応じて、度数分布表、ヒストグラムなどに表すことができる。 データの特徴を 1 つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。	レポート 面接指導 面接指導
1 節 集合と論証	1.0 1.0	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。 命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を養う。	レポート 面接指導 面接指導

教科名:数学

科目名:数学Ⅱ

目標:数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

使用教材:002 東書 数Ⅱ717・718 新数学Ⅱ

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明	1.0 1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・パスカルの三角形について考察し、二項定理を利用して式を展開することができる。</li><li>・分数式とその約分、わり算、かけ算について理解し、その計算ができる。</li><li>・分数式とその通分、たし算、ひき算について理解し、その計算ができる。</li><li>・虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることに興味をもち、従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解する。</li><li>・複素数の演算や共役な複素数について理解する。</li><li>・多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。</li><li>・剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に関してそれらを利用することができる。</li><li>・高次方程式について理解し、因数分解、因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。</li><li>・左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。</li><li>・左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。</li></ul>	レポート 面接指導 放送視聴
2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。</li><li>・座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。</li><li>・直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点が与えられたときの直線の方程式を求めることができる。</li><li>・2直線の交点の座標が方程式を連立して求められることを理解する。</li><li>・与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。</li><li>・円と直線の共有点の座標を求めることができる。</li><li>・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡を求めることができる。</li><li>・不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。</li><li>・連立不等式が表す領域を図示することができる。</li></ul>	レポート 放送視聴
3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理		<ul style="list-style-type: none"><li>・角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。</li><li>・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。</li><li>・一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。</li><li>・三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。</li><li>・三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。</li><li>・加法定理の簡単な応用として2倍角の公式を導き利用できる。弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。</li></ul>	レポート
4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・指数の範囲を整数全体に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。</li><li>・指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。</li><li>・身近な問題を解決することに、指数関数を活用することができる。</li><li>・対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。</li><li>・対数の性質を理解し、それらを用いて対数の計算をすることができる。</li><li>・対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。</li><li>・常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて整数の累乗の桁数を求めることができる。</li></ul>	レポート 面接指導
5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用 3節 積分	2.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。</li><li>・導関数の意味を理解する。</li><li>・簡単な導関数の計算ができる。</li><li>・曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。</li><li>・導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。</li><li>・関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。</li><li>・不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。</li><li>・定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。</li><li>・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</li></ul>	レポート 面接指導

教科名:数学

科目名:数学A

目標:数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

使用教材:002 東書 数A704・705 新数学A

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 節 場合の数 1 集合		部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。	レポート
2 集合の要素の個数		補集合、和集合について、集合の要素の個数を求めることができる。	
3 個数の数え方	1.0	具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。	放送視聴
4 和の法則と積の法則		和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求めることができる。	
5 順列		樹形図を利用して順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。	
6 順列の利用		順列の考え方をいろいろな場面に利用して、条件のついた順列の総数を求めることができる。	
7 いろいろな順列		重複順列、円順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。	
2 節 確率 1 事象と確率	1.0	試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。	レポート 面接指導
2 確率の計算		場合の数をもとに、確率を求めることができる。	
3 排反事象の確率		確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求めることができる。	
4 余事象の確率		余事象の確率を求めることができる。	
5 独立な試行の確率		独立な試行の意味を理解し、簡単な独立な試行の確率を求めることができる。	
1 節 平面図形の基礎 1 直線と角	1.0	平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。	レポート 面接指導
2 多角形の角		多角形の内角、外角の性質を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。	
3 三角形の合同と相似		三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。	
2 節 三角形の性質 1 三角形と比		三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。	レポート
2 三角形の重心		三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。	
3 三角形の外心・内心		三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。	
3 節 円の性質 1 円の接線		円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。	レポート
2 円周角の定理		円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を理解し、4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。	
4 節 空間図形 1 直線や平面の位置関係		2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。	レポート
2 多面体		多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に触れ、空間図形に対する見方を豊かにする。	
1 節 数や位置を表す 1 数を表す		古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。	レポート
2 数の表し方のしくみ		10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。	
2 節 数のつくり方を調べる 1 約数と倍数		約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。	レポート
2 最大公約数と最小公倍数		素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。	
3 節 はかる 1 測る	1.0	長さや面積の単位を調べることができる。また、タレスのピラミッドの高さの測量を通して、図形の性質や三角比を用いた測量の方法について考察することができる。	レポート 面接指導
2 量る		体積や重さの単位を調べることができる。	
4 節 数学で遊ぶ 1 数で遊ぶ(魔方陣)		魔方陣のしくみや解き方を筋道立てて考えることができる。また、魔方陣をつくること	
2 図形で遊ぶ		これまでに学んだことを用いて図形の不思議を解明する。また、新しいパズルをつくること	

教科名:理科

科目名:科学と人間生活

目標:自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために技能を身に付け、自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 科人・701 科学と人間生活

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 さまざまな微生物		・細菌、アーキア、原生生物、菌類に属するさまざまな微生物について理解する。 ・生態系における微生物の役割について考え、微生物は有機物を分解する分解者としての役割を果たしていることを理解する。	レポート
2 私たちの暮らしへの微生物の利用		・発酵や腐敗が微生物のはたらきによって起こることを理解する。 ・発酵食品にはどのような物があるかを考え、微生物のはたらきによって、さまざまな発酵食品がつくられることを理解する。	レポート
1 ヒトの視覚と光による影響	1.0 1.0	・眼の網膜で受容した光の刺激を脳で処理することにより視覚が生じることを理解する。 ・ヒトの眼の構造を理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
2 血糖濃度を調節するしくみ	1.0	・血糖濃度とそれを維持するための体内でのグルコースの流れについて理解する。 ・血糖濃度を調節するためにインスリンやグルカゴンがはたらいていることを知る。	レポート 面接指導
4 生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき		・DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解する。 ・DNAの塩基配列からタンパク質がつけられる過程について考え、理解する。	
1 リサイクルとは何か	1.0	・循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解する。 ・ガラス瓶における3Rについて理解し、それぞれの利点について考える。	面接指導
2 金属の性質とその再利用	1.0	・金属に特有の性質について理解する。 ・金属の構造について理解し、それを基に金属特有の性質について考える。 ・鉄やアルミニウムの精錬方法と用途について理解する。	レポート 放送視聴
3 プラスチックの性質とその再利用		・プラスチックの種類や特徴、用途について理解する。 ・モノマーとポリマー、重合(付加重合、縮合重合)など、プラスチックの構造について理解する。	レポート
1 衣料の科学	1.0 1.0	・繊維の種類とそれぞれの用途について理解する。 ・合成繊維は石油を原料とすることや、モノマーとポリマー、重合(付加重合、縮合重合)について理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
1 光の進み方とその基本的な性質	1.0 1.0	・光の波長とスペクトルとの関係について理解する。 ・光は、回折と干渉という波特有の性質をもつことを理解する。	レポート 面接指導 面接指導
2 目に見える光と色の見え方		・物体の色がどのようにして生じているかについて、光の3原色や人の視覚と関連付けて理解する。 ・物体の色は何によって決まるのかを考え、物体から目に届く光には透過光と反射光があることを理解する。	レポート
1 熱とは何か		・温度による水の状態変化を基に、温度による物質の状態変化と原子や分子の動きとの関係について問題を見いだす。	レポート
2 エネルギーの利用と私たちの暮らし		・力学的エネルギーから熱エネルギーへの変換について理解し、熱現象とエネルギーとの関係について考える。	
1 太陽と月がもたらすリズム		・同じ時刻に太陽や月が見える方位は日によって変化するかを考え、太陽や月の日周運動について問題を見いだす。 ・地球の自転と公転によって、1日や1年が定義されていることを理解する。 ・太陽、地球、月の位置関係と潮位の変動との関係について考え、潮位の変動の周期性について理解する。	レポート
2 太陽が動かす大気と水	1.0 1.0	・太陽のエネルギー源、太陽活動の変動、太陽の放射エネルギーについて知る。 ・大気の流れや対流について理解する。 ・緯度による太陽の熱の入射量の違いと地球の自転によって大気の流れができることを理解し、大気の大循環を理解する。 ・気圧分布や大気の流れと各季節の気象との関係を理解する。	面接指導 放送視聴
1 身近な自然景観の成り立ち	1.0	・プレート運動により、プレート境界に海嶺や海溝、山脈などができることを理解する。 ・山脈や火山をもたらす原動力は地球内部の熱であり、その熱が地表に放出される過程でプレートが動いていることを理解する。 ・地表は徐々に風化してろくろく、地すべりや土砂崩れ、土石流などが起こることがあることを理解する。	レポート 面接指導

教科名:理科

科目名:化学基礎

目標:日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究する力を養い、物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 化基702 新編化学基礎

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か		・物質には性質があり、私たちはそれを利用して生活していることを理解する。	レポート
2 章 物質の成分と構成元素	2.0 2.0 1.0	・純物質と混合物の性質を理解する。 ・混合物から成分となる物質を分離する方法があり、それは物質の性質によるものであることを理解する。 ・物質の溶解度は温度によって変化することについて理解する。 ・元素を確認する方法に、炎色反応や沈殿の生成があることを理解する。 ・物質には三態があり、それぞれの状態のとき、物質を構成する粒子がどのように運動しているか推察する。 ・物質が自然に広がっていく現象を拡散ということ、また、その現象は熱運動によることを理解する。	レポート 面接指導 面接指導 放送視聴
2 編 物質の構成 1 章 原子の構成と元素の周期表		・原子の構造から陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ・放射性同位体が年代測定や医療などに使われていることを知る。 ・電子配置で電子殻への電子の収まり方を知る。 ・最外殻電子と価電子を知る。また貴ガスの場合はこれらの示しているものが違うことを知る。 ・電子配置は原子番号の順に規則正しく変化することを理解する。	レポート
2 章 化学結合	1.0	・身のまわりの物質は原子やイオンがどのような結びつきでできているかを考える。 ・電子配置からイオンの生成を理解する。 ・イオン化エネルギーの周期性に気づき、教科書 p.42 図 10などを参考にしながら、典型元素の陽性と陰性について理解する。 ・イオン結合の形成について理解する。 ・共有結合の形成、分子式や構造式について理解する。 ・金属は、金属元素の原子が規則正しく配列してできた結晶であることを知る。 ・自由電子のふるまいがわかり、金属結合の仕組みを理解する。	レポート 放送視聴
3 編 物質の変化 1 章 物質と化学反応式	2.0 1.0	・天然に存在する多くの元素には一定の割合で同位体が存在するため、原子量はその加重平均の値であることを理解する。 ・原子量、分子量、式量のそれぞれが表す値を理解する。 ・物質と気体の体積との関係がわかり、それらの単位変換を理解する。気体の密度と分子量、空気の平均分子量について理解する。 ・物質量を中心とした量的関係を理解する。 ・モル濃度による溶液の濃度の表し方を理解する。 ・化学反応式やイオン反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。 ・化学変化に伴う質量変化に注目した化学の基本法則を知る。	レポート 面接指導 放送視聴
2 章 酸と塩基	1.0	・ブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解する。 ・水溶液の水素イオン濃度は広い範囲で変化するため、pHでも表せることを理解する。 ・pH指示薬と変色域により、水溶液のpHが測定できることを知る。 ・実験観察を通して、身近な物質のpHや希釈した水溶液のpHの変化を比較し考える。 ・酸と塩基が完全に中和するときの変化を化学反応式で理解する。 ・中和滴定に用いる器具の使い方がわかり、中和滴定の実験操作を理解する。 ・酸と塩基の組み合わせによる滴定曲線を比較し、適切な指示薬の使い分けを理解する。	レポート 面接指導
3 章 酸化還元反応	1.0 1.0	・酸化数は、原子やイオンがどの程度の酸化や還元をされているのかを示す数値であることを理解する。反応前後の酸化数の増減により、酸化と還元が確認できることを理解する。 ・代表的な酸化剤、還元剤としては、過マンガン酸カリウムや過酸化水素、ヨウ化カリウムであることを知る。 ・酸化還元反応の化学反応式の作ることができ、この反応の量的関係を理解する。 ・酸化還元滴定に用いる器具の使い方がわかり、実験操作を理解する。 ・身近に使われている実用電池の構造、それらの用途や特徴を知る。 ・金属の製錬には酸化還元反応が関わっていることを知る。	レポート 面接指導 放送視聴
終章 化学が拓く世界		・日常生活や社会生活を支えている科学技術と結びついていることを理解する。	

教科名:理科

科目名:生物基礎

目標:生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 生基 702 新編生物基礎

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1章 生物の多様性と共通性 1節 生物の多様性 2節 生物の共通性 3節 細胞の特徴	1.0 1.0	・地球上で生活する生物の多様性は、進化の結果生じたものであることを理解する。 ・生物のもつ基本的な特徴を理解する。 ・真核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞の構造について理解する。 ・真核細胞と原核細胞の構造を学習し、細胞の共通性と違いについて理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
2章 生物とエネルギー 1節 生体とATP 2節 酵素のはたらき 3節 呼吸と光合成	1.0 1.0	・生活のさまざまな場面でエネルギーを利用していることに気づく。 ・酵素の基本的な特徴を理解する。 ・呼吸におけるグルコースの分解反応について理解する。 ・ミトコンドリアでは、解糖系、電子伝達系、クエン酸回路の3つの過程を経て呼吸反応が進行することについて理解を深める。 ・光合成は、ATPの合成から始まることを理解する。	レポート 面接指導 面接指導
1章 遺伝情報とDNA 1節 生物と遺伝子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	1.0	・真核生物では、DNAが染色体の成分として存在することを理解する。 ・相同染色体とは何かを理解する。 ・結合する塩基に相補性があることを理解する ・DNAの二重らせん構造の特徴を理解する。 ・塩基配列の違いによって、生物ごとに遺伝情報が異なることを理解する。 ・細胞分裂のどこかの段階でDNAが倍になっていることに気づく。 ・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製は正確に行われることを理解する。	レポート 放送視聴
2章 遺伝情報とタンパク質の合成 1節 タンパク質 2節 タンパク質と遺伝情報 3節 細胞の分化と遺伝子	1.0	・アミノ酸の種類と並び方によって、多様なタンパク質が生じることを理解する。 ・生命活動には多種多様なタンパク質が関与していることを理解する。 ・遺伝情報は、ATGCの4つの文字のみで表現されていることから、4文字の組み合わせによって膨大な情報を表現できることに気づく。 ・コドンとアミノ酸の対応をまとめた遺伝暗号表について理解する。 ・1個の細胞がさまざまな分化して個体をつくっていることを理解する。 ・細胞ごとに異なる遺伝子が発現することで、多種の細胞に分化することを理解する。	レポート 放送視聴
1章 ヒトの体を調節するしくみ 1節 体内環境 2節 神経系による情報伝達 3節 内分泌系による情報伝達 4節 血糖濃度の調節	1.0	・交感神経と副交感神経の違いについて神経伝達物質の違いに着目して理解を深める。 ・脳の構造とおもなはたらきについて知る。 ・間脳の視床下部がホルモン分泌の中枢として機能することを理解する。 ・ホルモンの分泌量がフィードバックによって調節されていることを理解する。 ・身近な商品のパッケージから血糖値とは何か考える。 ・インスリンの作用と糖尿病の関係について理解する。 ・体温の調節機構について、関係する器官と支配のしくみを知る。	レポート 放送視聴
2章 免疫のはたらき 1節 免疫のしくみ 2節 免疫の応用 3節 免疫とさまざまな疾患		・風邪の症状を考える。 ・自然免疫について分類や特性を理解する。 ・免疫のしくみについて俯瞰的に整理して理解する。 ・体内の抗体量の変化のデータから二次応答のしくみを見いだして理解する。 ・免疫グロブリンのはたらきや特徴を理解する。 ・抗体について構造を学習することで理解を深める。 ・アレルギーの定義や症状について理解する。 ・1型糖尿病などの自己免疫疾患について理解する。	レポート
1章 植生と遷移 1節 身のまわりの植生 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム	1.0 1.0	・環境要因と環境形成作用の関係について理解する。 ・森林の階層構造と光環境の関係について理解する。 ・身近な資料から森林の構造を考える。 ・身近な空き地の変遷から、植生が時間とともに変化することに気づく。 ・日本のバイオームについて遷移と関連付けて知る。	レポート 面接指導 面接指導
2章 生態系と生物の多様性 1節 生態系における生物の多様性 2節 生態系における生物間の関係 3節 生態系と人為的攪乱 4節 生態系の保全	1.0 2.0	・ピットフォールトラップから生態系における種の多様性を見いだして理解する。 ・身近な食食品について、生態系の視点をを用いて考えてみる。 ・環境アセスメントの具体的な事例を基に、生態系の保全の重要性を見いだして理解する。	レポート 面接指導 面接指導

教科名:理科

科目名:地学基礎

目標: 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養うとともに、地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 地学基礎

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1 編 私たちの大地 1 章 大地とその動き	1.0 1.0	・推測した方法で自習を行い、地球の真の形と大きさを確認する。 ・地球の形について、地球が赤道方向に膨らんだ回転楕円体であることを理解する。 ・地震や地殻変動などの原因をプレートの動きで説明できることを理解する。 ・地殻変動によって生じる地質構造(しゅう曲、断層、不整合)について理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
2 章 火山活動と地震	1.0 1.0	・マグマが噴火するしくみについて知る。 ・火成岩は、岩石の組織と化学的組成によって分類されることを理解する。 ・地震の発生について、地震現象の特徴を理解する。 ・地震とプレート運動の関係性を理解し、プレート運動の違いによって地震によって生じる断層が異なることを理解する。	レポート 面接指導 面接指導
2 編 私たちの空と海 1 章 地球の熱収支	1.0	・大気の組成を知るとともに、大気圧は大気の重さによる圧力であることを理解する。 ・大気は鉛直方向にいくつかの層に区分されることを理解する。 ・対流圏での大気の大気対流によってさまざまな現象が起こっていることを理解する。 ・成層圏では上層ほど温度が高くなっていることを理解する。 ・中間圏・熱圏で起こる現象、特徴を理解する。 ・地球の熱収支は、地球全体でみるとり合っていることを理解する。	レポート 放送視聴
2 章 大気と海水の運動	1.0 1.0	・熱の運ばれ方には、顕熱輸送と潜熱輸送があることを理解する。 ・低緯度ではハドレー循環によって、中緯度では偏西風によって、高緯度では極循環による大気の循環があることを理解する。 ・大気の大循環における貿易風と偏西風によって環流が起こっていることを理解する。 ・深層循環が地球規模の気候の安定や変動に影響を与えていることを理解する。	レポート 面接指導 面接指導
3 編 私たちの宇宙の誕生 1 章 宇宙の構造と進化	1.0	・宇宙が誕生してからどのような過程をへて現在の状態になったのか整理し理解する。 ・天の川銀河の構造を理解する。 ・太陽と太陽系を構成する惑星は天の川銀河に漂っていた星間物質が集まって誕生したことを理解する。 ・太陽のエネルギーは水素核融合反応によって生じていることを理解する。	レポート 放送視聴
4 編 私たちの地球の歴史 1 章 地層と化石の観察	1.0 1.0	・地層累重の法則が成り立たない場合には、どのような例があるかを推察する。 ・堆積物の続成作用と主な堆積岩の分類について理解する。 ・地層や岩体の層序関係を理解する。 ・地質年代の区分について理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
2 章 古生物の変遷と地球環境		・地球の形成について理解する。 ・初期の地球のようすについて理解する。 ・古生代の生物の変遷について、自然環境の変化と結びつけて理解する。 ・白亜紀末に生物の大量絶滅があったこと、その原因について理解する。 ・人類と類人猿の違いについて理解する。	レポート
5 編 地球に生きる私たち 1 章 日本の自然の恵みと防災	1.0	・日本列島は多様な気候区分があり、垂直方向の温度変化が大きいことを理解する。 ・日本列島はいくつもの時代の付加体が集積してできていること、河川の平均勾配が急であるという特徴があることを理解する。 ・地震によってどのような災害が起こりやすいか考える。	レポート 面接指導
終 1 章 地球環境の考え		・地球は 1 つのシステム「地球システム」として見ることができ、大気圏、水圏、雪氷圏、固体圏、生物圏などのサブシステムによって構成され、自然現象には複数のサブシステムが関与していることを理解する。 ・炭素の循環について、時間スケールの取り方で見方が変わることを理解する。 ・地球システムには、多くのフィードバックが存在することを理解する。	レポート
終 2 章 自然環境の変動	1.0	・自然環境の変化は、外的要因と内的要因、人間活動によるものがあり、それらは時間スケールが異なることを理解する。 ・大気と海洋の相互作用の例として、エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。	面接指導
終 3 章 これからの地球環境		・気候変動に関する様々な世界の取り組みについて整理し理解する。 ・化石燃料に代わるエネルギーとして、再生可能エネルギーや代替エネルギーとして水素エネルギーなどがあることを理解する。 ・地球環境を考えるときに「持続可能性」という視点があることを理解する。	

教科名:保健体育

科目名:体育①

目標:運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じた体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を養うことを目指す。

使用教材:050 大修 保体・701 現代高等保健体育

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
体育倫理 スポーツの発祥と発展 ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・オリンピックとパラリンピックの意義	4.0	・スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、理解する。 ・近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、理解する。 ・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、理解する。 ・オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、理解する。	レポート 放送視聴
体づくり運動 野外活動	5.0	・屋久島での野外活動を通して、野外での活動の楽しさや喜びを味わうとともに自分の適性や能力を判断し主体的に取り組むことができる ・それぞれの野外活動に応じた危機管理について学ぶ。	面接指導
		・手軽な運動や律動的な運動を通して、仲間との円滑なコミュニケーションを図る。 ・手軽な運動や律動的な運動を通して、心と体はお互いに影響し変化することに気づく。	
球技	2.0 1.0	・ボールを「拾う/つなぐ/打つ」基本操作をできるようにする。 ・仲間と連携し、一連の流れについて攻撃方などを組み立てる。	面接指導 放送視聴
武道	2.0	・競技のルールや、特徴について学ぶ。	面接指導
ダンス	1.0	・競技のルールや、特徴について学ぶ。	放送視聴

教科名:保健体育

科目名:体育②

目標:運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じた体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を養うことを目指す。

使用教材:050 大修 保体・701 現代高等保健体育

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
体育理論 スポーツの発祥と発展 ・スポーツが経済に及ぼす影響 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツ環境 運動・スポーツの学び方 ・スポーツにおける技術と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習	4.0	・スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、理解する。 ・スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、理解する。 ・技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解する。 ・技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されることを理解する。 ・スポーツの技術や戦術、ルールは、用具や用品、施設などの改良によって変わり続けていることを理解する。 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解する。	レポート 放送視聴
体づくり運動	2.0	・屋久島での野外活動を通して、野外での活動の楽しさや喜びを味わうとともに自分の適性や能力を判断し主体的に取り組むことができる ・それぞれの野外活動に応じた危機管理について学び実践する。	面接指導
	2.0	・活動を通して、課題を挑戦・解決し協力性を高める。	面接指導
陸上競技	1.0	・陸上競技(短距離・長距離)について学ぶ。	放送視聴
水泳	2.0	・水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ)について学ぶ。	面接指導
球技	2.0	・ハンドボール・テニスについて学ぶ。	面接指導
武道	1.0	・競技のルールや、特徴について学ぶ。	放送視聴

教科名:保健体育

科目名:体育③

目標:運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じた体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を養うことを目指す。

使用教材:050 大修 保体・701 現代高等保健体育

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
体育理論 運動・スポーツの学び方 ・効果的な動きのメカニズム ・体カトレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保 豊かなスポーツライフの設計 ・障害スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造	1.0 2.0	・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解する。 ・生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて、理解する。 ・人生に潤いをもたらす適切な関わり方を継続するためには、「する」だけでなく、豊かなスポーツライフを実現するための「みる」、「支える」、「知る」などの卒業後のスポーツへの多様な関わり方を構想したり、設計したりすることが重要であることについて、理解する。	面接指導 放送視聴
体づくり運動	3.0	・屋久島での野外活動を通して、野外での活動の楽しさや喜びを味わうとともに自分の適性や能力を判断し主体的に取り組むことができる ・それぞれの野外活動に応じた危機管理について学び実践する。	面接指導
	2.0	・活動を通して、課題を挑戦・解決し協力を高める。	面接指導
陸上競技	1.0 2.0	・陸上競技(器械運動 平均台・跳び箱)について学ぶ。 ・陸上競技(走り幅跳び・走り高跳び・三段跳び・やり投げ・砲丸投げ)について学ぶ。	面接指導 放送視聴
武道	1.0	・武道(空手・剣道)について学ぶ。	面接指導
球技	2.0 4.0	・球技(バスケットボール・ソフトボール・ソフトボール・卓球・サッカー)について学ぶ。	面接指導 放送視聴
ダンス	2.0	・ダンス(現代ダンス・フォークダンス)について学ぶ。	面接指導
器械運動	1.0	・器械運動(マット運動・鉄棒)について学ぶ。	放送視聴

教科名:保健体育

科目名:保健

目標:個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質を育てる。

使用教材:050 大修 保体・701 現代高等保健体育

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
現代社会と健康	1.0 1.0 1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>・わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解する。</li><li>・喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界におけるたばこ対策について理解する。</li><li>・飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解する。</li><li>・薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響、薬物乱用の開始要因と社会問題、薬物乱用による健康被害を防ぐためのさまざまな対策について理解する。</li><li>・心と大脳の働き、人間のさまざまな欲求、欲求不満に対処するための適応機制について理解する。</li><li>・ストレスの原因へのさまざまな対処法について知る。</li><li>・感染症、新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解する。</li></ul>	レポート 面接指導 面接指導 放送視聴
安全な社会生活		<ul style="list-style-type: none"><li>・交通事故の現状とその要因について知る。</li><li>・安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について知る。</li><li>・応急手当の意義やその手順について知る。</li><li>・心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について知る。</li></ul>	レポート
生涯を通じる健康		<ul style="list-style-type: none"><li>・思春期における体の変化、思春期における心と健康課題について知る。</li><li>・性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて知る。</li><li>・妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて知る。</li><li>・働くことの意義や健康のかかわり、働き方と健康問題の変化について知る。</li><li>・労働災害とその防止対策、労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて知る。</li></ul>	レポート
健康を支える環境づくり		<ul style="list-style-type: none"><li>・大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について知る。</li><li>・保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について知る。</li><li>・医療制度と医療保険のしくみ、医療機関の役割と医療サービスの活用について知る。</li><li>・医薬品の種類と正しい使用方法、医薬品の安全性を守る取り組みについて知る。</li></ul>	レポート

教科名:芸術

科目名:美術I

目標:美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすことを目指す。

使用教材:116 日文 美I・702 高校生の美術I

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
絵画・作品制作 ・身近なものを描く ・植物を描く ・私の見つけた風景 ・人物を描く ・想像を形に ・版をあらわす ・墨表現の可能性 ・漫画の表現 ・資格のトリックを生かして	4.0 1.0 3.0	・描画材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・身近な人や手などを描くことで、対象を観察する眼を養う。 ・さまざまな種類の絵の具の特徴を理解し、意図に応じた表現ができるように工夫する。 ・静物画を描くことで画面全体のバランスやムーブメントを考えて構成することを学ぶ。 ・想像画を描くことで、豊かな発想力を養い、形にしていく過程を学ぶ。	レポート 面接指導 面接指導 放送視聴
彫刻 ・塑像であらわす ・彫ってあらわす ・抽象彫刻であらわす ・身近な素材と立体表現	1.0	・彫刻作品を知り、美術の幅広い表現方法を学ぶ。 ・歴史からみた美術を理解する。 ・模倣する過程で得られる新しい創作の可能性を知る。 ・さまざまな版画表現を理解し、版画の持つ豊かな表現性を知る。	面接指導
デザイン・作品制作 ・ポスターで伝える ・サインのデザイン ・キャラクターのデザイン ・生活を彩る模様 ・パッケージのデザイン ・暮らしの中の使うデザイン	1.0	・デザインの魅力を作り出す色彩について学び、色の対比や調和を理解する。 ・色の配色における面積比やレイアウトに注目して作品を制作する。 ・文字の活用法や違いを観察し、タイポグラフィを知る。 ・文字の持つ特性を生かし、ロゴタイプを制作する。 ・文字を使い、ポスターを制作する。 ・さまざまなプロダクトデザインを鑑賞し、デザインの意味やその意図を理解する。 ・現代建築から建築デザインを知り、理解を深める。 ・デザイン史を知ること、身近にあふれているデザインのあり方を理解する。	レポート 面接指導
映像メディア表現 ・写真であらわす ・アニメーションの手法 ・映像で伝えるメッセージ	1.0 1.0	・被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして、学校生活で心に残る情景を思いが伝わるように表す。	面接指導 放送視聴

教科名:外国語

科目名:英語コミュニケーションⅠ

目標:基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる能力を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 All Aboard! English Communication I

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko	1.0	・be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。 ・自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。	面接指導
Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!	0.5	・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・自分の日常の行動や食べ物のお好みなどを、一般動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。	面接指導
Communication 1	1.0	・いろいろな自己紹介を身につける。	面接指導
Lesson 1 Breakfast around the World	1.0	・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。	レポート 放送視聴
Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	1.0	・進行形(be 動詞+動詞の-ing 形)の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につける。	放送視聴
Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	1.0	・列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞 can、will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につける。	レポート 放送視聴
Communication2	1.0	・道の尋ね方について、複数の用法を身につける。 ・道案内について、複数の用法を身につける。	面接指導
Lesson 4 A Miracle Mirror	1.0	・ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞(to+動詞の原形)を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。	レポート 放送視聴
Lesson 5 Learning from the Sea	1.0	・将来の夢や先週末に楽しんだことについて、動名詞(動詞の-ing 形)を用いて、考えや気持ち、情報などを話して伝え合う技能を身につける。	レポート 放送視聴
Reading 1 Short Stories in English	1.0	・英語で書かれた Short Stories の内容を読み取る技能を身につける。	面接指導
Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	1.0	・好きな絵の紹介とその理由について、受け身(be 動詞+過去分詞)を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。	レポート 放送視聴
Lesson 7 A Diary of Hope	1.0	・比較表現(-er)〈the -est〉〈as+原級+as〉の理解をもとに、アンネ・フランクについて学んだり、関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて、考えなどを伝え合う技能を身につける。	レポート 放送視聴
Lesson 8 A Door to a New Life		・現在完了形(have[has]+過去分詞)の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につける。	レポート
Communication3	1.0	・乗り換えの尋ね方について、複数の用法を身につける。 ・乗り換えを聞かれた際の答え方について複数の用法を身につける。	面接指導
Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	2.0	・「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちができることを伝え合う技能を身につける。	レポート 面接指導
Lesson 10 Pigs from across the Sea	1.5	・関係代名詞 who、which の理解をもとに、第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助や、両地域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につける。	レポート 面接指導
Reading 2 The Wizard of Oz	2.0	・英語で書かれた <i>The Wizard of Oz</i> の内容を読み取る技能を身につけている。 ・英語で書かれた <i>The Wizard of Oz</i> を、主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読している。また、聞いている相手に意味が伝わりやすい読み方の要点を捉えている。	面接指導

教科名:外国語

科目名:論理・表現 I

目標:多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができるようになる能力を養うことを目指す。

使用教材:002 東書 論 I 701 NEW FAVORITE English Logic and Expression I

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
英語で表現するには		主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、日本語の言い換え、品詞、句と節	
Unit 1 Lesson 1 初めての食事	1.0	[言語の働き]褒める、勧める、断る [文法]未来表現、可算名詞・不可算名詞、受動態	レポート 面接指導
Unit 1 Lesson 2 道に迷う	1.0	[言語の働き]提案する、依頼する、道順を説明する [文法](Could you …?や命令文など)	レポート 面接指導
Unit 1 Lesson 3 人物紹介	1.0	[言語の働き]身近な人を紹介する、注意を引く [文法]現在完了形と過去形、to不定詞と動名詞	レポート 面接指導
Unit 1 Lesson 4 体調が悪い	1.0	[言語の働き]体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスを [文法]冠詞・人称代名詞、should had better	レポート 面接指導
Unit 1 Lesson 5 買い物	1.0	[言語の働き]描写する、相づちを打つ [文法]現在形と現在進行形、現在完了形と過去形	レポート 面接指導
Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所		[言語の働き]希望を述べる、理由を述べる [文法]後置修飾、to不定詞と動名詞	レポート
Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる		[言語の働き]誘う、誘いを受ける、誘いを断る [文法]未来表現	
Unit 1 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談		[言語の働き]状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案する、お礼や感謝を伝える [文法](how や why を用いた文)	
Unit 1 Lesson 9 お気に入りの紹介	1.0	[言語の働き]映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする、感想や批評を述べる [文法]前置修飾、後置修飾	面接指導
Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻		[言語の働き]相手に謝る、相手を許す、相手を励ます [文法]使役動詞、to不定詞と動名詞	
Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション	1.0	[言語の働き]共感を述べる、残念な気持ちを述べる、解決策を提案する [文法]仮定法	面接指導
Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿	1.0	[言語の働き]要望や主張を述べる、理由を述べる [文法]仮定法	面接指導
Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート①	1.0	[言語の働き]理由を述べる、例を挙げる [文法]to不定詞と動名詞	放送視聴
Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート②	1.0	[言語の働き]相手の意見に反駁する、相手の意見を引用する [文法]否定語の使い方	放送視聴
Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ	0.5	[言語の働き]できごとをいきいきと描写する、経験からアドバイスを [文法]後置修飾、受動態	放送視聴
Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介	0.5	[言語の働き]ルールや手順を順序だてて説明する、聞き手の知識に合わせて説明する [文法]現在完了形と過去形	放送視聴
Unit 2 Lesson 5 日本をPR		[言語の働き]事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明する [文法]and、but、so	
Unit 2 Lesson 6 物語の両面を伝える		[言語の働き]利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変える [文法]名詞と無生物主語	
Unit 2 Lesson 7 読み手を納得させる	0.5	[言語の働き]自分の主張について理由を説明する、理由を要約してまとめる [文法](分詞構文)	放送視聴
Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する	0.5	[言語の働き]人の発言を直接引用する、条件を出して意見を述べる、説得する [文法]名詞と無生物主語	放送視聴

教科名:家庭

科目名:家庭総合

目標:生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

使用教材:002 東書 家総・701 家庭総合 自立・共生・創造

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1章 2章	1.5	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	レポート 面接指導
3章	1.0 1.0	・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
4章		・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 ・これからの超高齢社会の課題を理解する。 ・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。	レポート
5章	1.0	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 ・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。	レポート 面接指導
6章	1.0	・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	レポート 放送視聴
7章	1.0	・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。	レポート 放送視聴
8章		・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	レポート
9章	2.0 1.0	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。	レポート 面接指導 放送視聴
10章		・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。	
11章 1 生活をデザインする	1.0 1.5	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。	面接指導 面接指導

教科名:情報

科目名:情報 I

目標:情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養うことを目指す。

使用教材:002 東書

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
1章 情報で問題を解決する	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>情報の特性から、情報とは何かを理解する。</li><li>さまざまなメディアの特性を理解する。</li><li>問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。</li><li>問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。</li><li>問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。</li><li>情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。</li><li>情報社会の安全を守るための、法規や制度および個人の責任について学習する。</li><li>個人情報とはどのようなものか理解する。</li><li>SNSを通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。</li><li>SNS等の不適切な使い方による問題を理解する。</li><li>著作権について理解する。</li><li>引用の仕方を理解する。</li><li>情報化による健康への影響などの問題について学習する。</li><li>サイバー犯罪などの問題について学習する。</li></ul>	レポート 放送視聴
2章 情報を伝える	2.0	<ul style="list-style-type: none"><li>メディアの特性について学習する。</li><li>近年のソーシャルメディアによる人のつながりを理解する。</li><li>ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。</li><li>デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。</li><li>2進法と情報の単位について学習する。</li><li>文字のデジタル表現について学習する。</li><li>デジタルでの色の原理を理解する。</li><li>データの圧縮について学習する。</li></ul>	レポート 面接指導
3章 コンピュータを活用する	1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータの基本構成について理解する。</li><li>ハードウェアとソフトウェアについて理解する。</li><li>プログラムの動作の仕組みについて学習する。</li><li>コンピュータの演算の仕方について学習する。</li><li>コンピュータの処理のための基本的な回路について学習する。</li><li>アルゴリズムの必要性を理解する。</li><li>プログラムの制御構造について学習する。</li><li>モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。</li></ul>	レポート 面接指導
4章 データを活用する	1.0 1.0	<ul style="list-style-type: none"><li>情報通信ネットワークとは何か学習する。</li><li>LANとWANの違いを学習する。</li><li>プロトコルと、その1つとしてTCP/IPについて学習する。</li><li>ネットワークを構成するハードウェアについて学習する。</li><li>サーバの役割について学習する。</li><li>インターネットでのIPアドレスとDNSの役割を学習する。</li><li>WWWについて理解する。</li><li>情報セキュリティの機密性、完全性、可用性を理解する。</li><li>情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。</li><li>データとは何か学習する。</li><li>データベースの役割がどのようなものか理解する。</li><li>社会でのデータベースの活用例を学習する。</li><li>分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。</li></ul>	レポート 面接指導 放送視聴

教科名:総合的な探究の時間

目標:探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する能力を養うことを目指す。

教科名:総合的な探究の時間

科目名:総合的探究①

目標:課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
	4.0	・「人」「コミュニケーション」の学びを深める。 ・人のかかわりの中から、コミュニケーションの在り方を探求し、課題の解決に向けて実践する。 ・起こったことをふりかえる中で、自らに必要なコミュニケーションの知識・技能を身につける。	面接指導
	2.0	・テーマについて深く掘り下げて考える	面接指導
	2.0	・プログラミング的思考を養う。 ・多角的な視野を持つ。 ・持続可能な社会について学ぶ。	放送視聴
		・過去の歴史より学ぶ。 ・都市の発展について考える。	レポート
レポートの作成		・テーマを決める ・テーマに沿った内容を調べ、考察し、自分の意見をレポートにまとめる。	レポート

教科名:総合的な探究の時間

科目名:総合的探究②

目標:自ら学び、自ら考え、問題を解決するため態度を養うことを目指す。

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
	4.0	・「人」「コミュニケーション」の学びを深める。 ・人のかかわりの中から、課題を見だし、解決に向けて、コミュニケーションの活用を図る。 ・起こったことをふりかえる中で、自己と他者の違いを認め、お互いの価値を見いだす。	面接指導
	2.0	・テーマについて深く掘り下げて考える	面接指導
	2.0	・偉人に学ぶ。 ・仕事のみらいを学ぶ。	放送視聴
		・過去の歴史より学ぶ。 ・民俗学について科学的視点で学ぶ。	レポート
レポートの作成		・テーマを決める ・テーマに沿った内容を調べ、自分の意見をまとめる	レポート

教科名:総合的な探究の時間

科目名:総合的探究③

目標:自ら学び、自ら考え、問題を解決するため態度を養うことを目指す。

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
	4.0	・「人」「コミュニケーション」の学びを深める。 ・人のかかわりの中から、課題を見だし、解決に向けて、コミュニケーションの活用を図る。 ・起こったことをふりかえる中で、自己と他者の違いを認め、お互いの価値を見いだす。	面接指導
	2.0	・テーマについて深く掘り下げて考える	面接指導
	2.0	・昔話法廷より、裁判について学ぶ ・仕事のみらいを学ぶ。	放送視聴
		・過去の歴史より学ぶ。 ・民俗学について科学的視点で学ぶ。	レポート
レポートの作成		・テーマを決める ・テーマに沿った内容を調べ、自分の意見をまとめる	レポート

教科名:産業社会と人間  
 科目名:産業社会と人間  
 目標:

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
	1.0	・地元産業について学ぶ。 ・地域の産業構造について体験し理解する。 ・地域の特産品の利用や観光業を通して産業構造について対話を重ね視野を広げ思考を深める。	面接指導
	1.0	・テーマについて深く掘り下げて考える	面接指導
	1.0	・日本の文化について学ぶ。 ・日本の技術について学ぶ。	放送視聴
		・過去の歴史より、現代を理解する。 ・仕事をすることについて学ぶ。	レポート

教科名:特別活動

目標:望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うことを目指す。

単元:ホームルーム

目標:ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる能力を養うことを目指す。

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
LHR	1.0	・ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動を促す。 ・学校における多様な集団の生活の向上を図る。 ・自己及び他者の構成の理解と尊重を図る。 ・男女総合野理解と協力を図る。 ・心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣を確立させる。 ・生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣を確立させる。	
LHR	1.0	・ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動について考える。 ・学校における多様な集団の生活の向上が図れたか考察する。 ・自己及び他者の構成の理解と尊重が図れたか考察する。 ・男女総合野理解と協力を図れたか振り返る。 ・心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣を確立させることができたか振り返る。 ・生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣を確立させることができたか振り返る。	
LHR	1.0	・ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動について考える。 ・学校における多様な集団の生活の向上が図れたか考察する。 ・自己及び他者の構成の理解と尊重が図れたか考察する。 ・男女総合野理解と協力を図れたか振り返る。 ・心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣を確立させることができたか振り返る。 ・生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣を確立させることができたか振り返る。	

単元:学校行事

目標:学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会活動を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる能力を養うことを目指す。

単元名	時間配分	指導内容	指導方法
儀式的行事	2.0	・学校生活に有意義な変化や折り返し目をつけ、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機づけをさせる。	
集団宿泊的行事	5日間	・日常と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳についての望ましい体験を積む。	
進路選択	各1.0 ~2.0	・卒業生の話を聞き、進路選択への動機づけをさせる。 ・社会で活躍している人の話を聞き、将来の選択への動機づけをさせる。 ・在校生の取り組みについての発表を聞き、自身の学校生活を振り返る。 ・おぞら杯に参加し、日ごろの活動の成果を校外の人に向けて発表し評価を受ける。	